

令和2（2020）年度 放課後活動指導者研修 実施報告③

実施日：令和2（2020）年7月9日（木）

○ 講話「もしもの時も落ち着いて～子どもを守る危機管理～」(防災編)

NPO 法人栃木県防災士会 理事長 稲葉 茂 氏

今回は、子どもを守る危機管理について、防災の観点から講話をいただきました。

前半は、日本では、地形や気候の特徴から必然的に自然災害が頻発するので、日頃から災害発生への備えが大切であるという話がありました。途中、災害発生時の正しい避難行動を考えるクイズが出題され、受講者は様々な災害の場面を想定しながら回答を考えました。正答の解説を聞きながら、命を守る可能性を高めるために必要な行動とはどんなものなのかを、確認することができました。また、防災・減災の基礎となる『自助』・『共助』の説明を聞き、一人一人が防災についての意識や知識・技能を高めることや、近隣の人々とのつながりや助け合いの関係づくりを進めておくことの重要性を再認識できたようです。



後半は、DVD 視聴から始まりました。映像資料の中では、身近にあるものを使って比較的簡単にできる防災対策グッズや、地域が一体となって実践している防災訓練の例が紹介されました。これにより、防災のための様々な取組を具体的にイメージすることができました。最後は、本県で特に身近に起きると予想される雷による災害と、本県も含め近年各地で頻発している水害についてお話いただき、考え得る被害や、実際に危険な場面に遭遇した際の適切な対処法などを知ることができました。

2時間という限られた時間でしたが、身近に起こる災害から身を守るすべについて、幅広く学ぶ時間となりました。



★ 受講者の声 ★

- ・自助、共助のためには、普段からの備えに加え近くの人たちとのつながりも重要であると感じた。
- ・水害対策について知らないことばかりだったのでためになった。
- ・日頃から防災を意識して過ごすことがとても大事だと思った。
- ・自分の身を守らなければ子どもたちも守れないことを改めて学んだ。
- ・地震や雷、洪水など多岐にわたる内容で充実していた。
- ・今までの自分の（防災対策についての）思い込みを見直すことができた。
- ・コロナ禍で防災訓練もしづらいが、持ち出し袋をチェックし、アルコールや体温計を加えて詰め直したい。
- ・自分の（防災についての）知識が、子どもたちを助けることにつながることを理解できた。
- ・最近水害が各地で実際に起きている中で、冠水した道路通行時の注意事項など、いろいろと参考になった。
- ・防災の知識、災害発生時の具体的な対応の仕方などが、分かりやすく、詳しく学べた。子どもたちの集団を守る、という視点で、学んだことを整理し、万が一に備えたい。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp